

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



超我の奉仕

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp http://rc.nagoya-seinan.org/

第10回クラブフォーラム

第535回例会No. 41 平成18年6月1日(木)晴

出席報告 会員49名中39名出席
出席率 68.89% 出席計算人数46名
修正出席率 5月18日修正出席率 95.65%
スピーカー 安江英雄さん
ゲスト 元会員 三田敏雄さん

会長挨拶 池井戸貞夫

本日は、この度中部電力(株)の社長に就任されました、三田敏雄さんがゲストとしてご出席下さいました。心からご歓迎申し上げます。

皆さんご承知のとおり、三田さんは、3年前の6月まで当西南ロータリークラブの会員でした。三田さん、名古屋にお戻りになりましたので、是非当クラブにお戻り下さいますようお願い致します。

そして、もう一つ嬉しいお知らせがあります。本年度「RI 会長賞」の当クラブ受賞が決定しました。おめでとうございます。6月3日に表彰状が戴けるそうです。さて、今年は野口英世博士の生誕130年になります。この度野口英世が小学校時代の恩師 小林栄さんに宛てた手紙20通が、福島県猪苗代町の野口英世記念館で初公開されたそうです。

進学を勧め、不自由な左手の手術費用を工面してくれた恩師に、博士は1900年に渡米の決意を次のように綴っています。「恩師は実親よりも小生を愛護され... 小生の覚悟は死を以て成業を誓うのみに後座候」と。

渡米中、博士が研究に向かう姿勢は「見つかるか見つからぬか判らぬが、まあ兎に角やってみようなどという不安定な考えでは決して手をくださなかった」と野口英世回想録にあるそうですが、それくらい厳しいものでした。

「誓いは果たしてこそ誓いである。誓いを果たすのは、何のためか、それは師恩に報いるためだった。その報恩の闘争は、博士自信を飾ることになりました。博士の生家から磐梯山を仰ぐことが出来るそうです。その雄大な姿は博士にとって恩師の雄大な姿と重なった事だろうと書かれています。

仰ぎ見る師を持つことが如何に幸せかを感じました。

以上

6月の祝福

誕生日		結婚記念日
2日	和田さん	
5日		西川さん
6日	吉田さん	
10日		永井さん
13日	中川さん	
16日	水野さん	
18日	丸山さんご夫人	
21日		長谷川さん
23日	長江正博さん	
25日	中野さんご夫人	

ニコBOX

元会員 三田敏雄さん

お招きいただき有難うございます。

本日のクラブフォーラムは「次年度方針」です。会長エレクト安江英雄さん、宜しく申し上げます。渡邊副会長、中川、松尾、西川(敬称略)

ゲスト出席の元会員 三田敏雄さん、中部電力株式会社 社長就任おめでとうございます。体に気をつけてご活躍下さい。池井戸会長、鈴原幹事、矢野、後藤、中村、藤野、水野、丸山、浮貝、磯部、長谷川千廣、西垣、近藤、河原、石田、加藤、和田、森、森田、植木、林(敬称略)

大林さん 誕生祝のお花有難うございました。74歳です。中村さんはまだ73歳。

長江さん 今月は私の誕生月です。誕生日の祝い有難うございました。

大平さん 今期最終月になりました。会長幹事役員の方々、ご苦労様でした。有終の美を飾り最後まで頑張ってください。

永井さん 横浜に出張中のため三田さんにお目にかかれず残念です。中電から会員を一人紹介してください。

春のニコニコ健康感謝 Day 石田さん以下5名

本日合計 81,000円

幹事報告

1. 本日例会後に今年度最後のクラブアッセンブリがございませう。該当の方はご出席お願い致します。
2. 次週8日の18時より、今年度最終回のロータリー

情報ミーティングがございます。該当の方はご出席をお願い致します。

ゲストご挨拶

元会員 三田敏雄さん



第10回クラブフォーラム
「次年度方針」

会長エレクト 安江英雄



ガバナーメッセージ
(ガバナー月信6月号より)
第2760地区ガバナー 高橋

会員の皆様、お元気ですか。この一年間は同期のガバナー、地区幹事・副幹事、役員、ガバナー補佐、各委員長を始めパストガバナー等、想定範囲外の方々にもご支援ご協力していただき、6月を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

昨年は、愛・地球博の開催中に大島さんからバトンタッチされ、ガバナー公式訪問も万博の公式行事と重なってしまい、ご無理をお願いして合同例会が多くなってしまいました。全クラブを訪問することが出来なくて申し訳なく思っています。しかし2,205万人が来場した万博では、我々2760地区のロータリアンと国内有

志の方々の寄附によって建設・運営されたロータリー館は、迎賓館の向かい側という立地条件の良さもあって、ロータリアンだけではなく一般の来場者や万博協会が主催したセミナー等にも幅広く利用されて、延べ2万人以上の来館者を数えました。百周年行事にふさわしいものとなり、また協会からも大変高い評価を受けて良い思い出となりました。特に、豊島館長を始め藤本さん達地元ロータリアンの献身的な奉仕により、例会やメイクアップ受付はもちろんのこと、一般の方々が困った時の休息場所として利用されたことは、ロータリアンの優しさと思いやりを表わすもので、日本のロータリーの歴史、そして多くの人々の記憶に残ったものと信じます。

5月の連休はニュージーランドに行きました。南島で10日、晩秋の感じでした。マウントクックのハミテージホテル前に、エベレストを初登頂したヒラリー卿の登山服姿の銅像がありました。1953年5月29日、英国のハント隊の一員としてネパール人のテンジンの案内で8,848mのエベレスト(チョモランマ)の初登頂を成し遂げた彼は、1919年にニュージーランドのオークランドで生まれて今でもそこに住んでいます。若い時から当地では有名な冒険家であり、マウントクックに何回も登って訓練を積んでいたということで、ここに銅像のある理由が分かりました。この山は南島の中央山脈にあり、南極大陸プレートとオーストラリア大陸プレートがぶつかって出来たのがこの島と山脈です。今でも2つのプレートが押し合って、山頂は少しずつ隆起しては風化崩落し、富士山より22m低い3,754m(位)になっています。

ニュージーランドは人口410万人に対して羊4千万匹(多い時は7千万匹)、牛1千万頭という牧畜主体の大変のんびりとした人情味のある国のようです。ヒラリー卿もネパールのシェルパ達の生活向上を願って募金活動をして、昔の協力に報いる運動をしていると



いいいます。来期のRI会長ウィリアム(ビル)B・ポイド氏もニュージーランド出身ですから、人情味のある優しい会長にならるでしょう。

当地では、斉藤さんがガバナーに就任されます。立派なお人柄と熱意でリードしていただき、2760地区

が益々発展し繁栄することを期待し、最後のガバナー月信の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

次回例会のご案内

6月15日(木) 第537例会

「新入会員卓話」 長谷川千廣さん